

令和3年12月7日
午前10時00分開議
於 議 場

1. 出席議員は次のとおりである（16名）

1番	板倉克典	2番	那須英二
3番	小久保照枝	4番	堀岡敏喜
5番	加藤明由	6番	佐藤仁志
7番	横井克典	8番	江崎貴大
9番	加藤克之	10番	高橋八重典
11番	鈴木みどり	12番	早川公二
13番	平野広行	14番	三浦義光
15番	佐藤高 清	16番	大原 功

2. 欠席議員は次のとおりである（なし）

3. 会議録署名議員

4番	堀岡敏喜	5番	加藤明由
----	------	----	------

4. 地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名（36名）

市 長	安藤正明	副 市 長	村瀬美樹
教 育 長	奥山 巧	総 務 部 長	横山和久
市民生活部長	伊藤仁史	健康福祉部長兼 福祉事務所長	山下正巳
建設部長	伊藤重行	教 育 部 長	柴田寿文
総務部次長兼 企画政策課長	伊藤淳人	健康福祉部次長兼 保険年金課長	服部利恵
建設部次長兼 土木課長	小笠原 己喜雄	会 計 管 理 者	伊藤 えい子
教育部次長兼 歴史民俗資料館長	伊藤隆彦	監 査 委 員 長 事 務 局 長	佐藤雅人
総 務 課 長	鈴木博貴	財 政 課 長	立石隆信
人事秘書課長	山森隆彦	防 災 課 長	太田高士
税 務 課 長	横江兼光	収 納 課 長	細野英樹
市民課長兼 鍋田支所長	伊藤篤由	環 境 課 長	田口邦郎
市民協働課長	藤井清和	商工観光課長	浅野克教
十四山支所長	山田 淳	健康推進課長	山守美代子

福祉課長	梅田英明	介護高齢課長兼 総合福祉 センター所長兼 十四山総合福祉 センター所長	安井幹雄
児童課長	飯田宏基	農政課長	上田忠次
都市整備課長	三輪秀樹	下水道課長	水谷繁樹
会計課長	服部朋夫	学校教育課長	渡邊一弘
生涯学習課長兼 十四山スポーツ センター館長	中野修	図書館長	岩田繁樹

5. 本会議に職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	佐野智雄	書記	佐藤文彦
書記	鷺尾里恵		

6. 議事日程

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 議案第40号 弥富市消防団条例の一部改正について
- 日程第3 議案第41号 弥富市歴史民俗資料館条例の一部改正について
- 日程第4 議案第42号 弥富市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- 日程第5 議案第43号 弥富市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- 日程第6 議案第44号 弥富市子ども医療費支給条例の一部改正について
- 日程第7 議案第45号 弥富市国民健康保険条例の一部改正について
- 日程第8 議案第46号 工事請負契約の変更について
- 日程第9 議案第47号 市道の認定について
- 日程第10 議案第48号 令和3年度弥富市一般会計補正予算（第10号）
- 日程第11 議案第49号 令和3年度弥富市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 日程第12 議案第50号 令和3年度弥富市介護保険特別会計補正予算（第2号）
（追加提案）
- 日程第13 議案第51号 令和3年度弥富市一般会計補正予算（第11号）
- 日程第14 議案第52号 令和3年度弥富市一般会計補正予算（第12号）
- 日程第15 議案第53号 令和3年度弥富市下水道事業会計補正予算（第2号）

~~~~~ ○ ~~~~~

午前10時00分 開議

○議長（大原 功君） ただいまより継続議会の会議を開きます。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（大原 功君） 日程第1、会議録署名議員の指名をいたします。

会議規則第88条の規定により、堀岡敏喜議員と加藤明由議員を指名いたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第2 議案第40号 弥富市消防団条例の一部改正について

日程第3 議案第41号 弥富市歴史民俗資料館条例の一部改正について

日程第4 議案第42号 弥富市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

日程第5 議案第43号 弥富市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について

日程第6 議案第44号 弥富市子ども医療費支給条例の一部改正について

日程第7 議案第45号 弥富市国民健康保険条例の一部改正について

日程第8 議案第46号 工事請負契約の変更について

日程第9 議案第47号 市道の認定について

日程第10 議案第48号 令和3年度弥富市一般会計補正予算（第10号）

日程第11 議案第49号 令和3年度弥富市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

日程第12 議案第50号 令和3年度弥富市介護保険特別会計補正予算（第2号）

○議長（大原 功君） この際、日程第2、議案第40号から日程第12、議案第50号まで、以上11件を一括議題といたします。

本案11件は既に提案されておりますので、これより質疑に入ります。

通告に従い、発言を許可します。

まず、佐藤仁志議員。

○6番（佐藤仁志君） それでは議案第47号市道の認定について質問させていただきます。

南北の一体化のための道路だと市は主張されていますが、東西に2か所ある踏切が道路ネットワークとしては機能していると思います。東西の位置で、上を通す跨線橋にするのか、地下を通すアンダーパスにするのか。アンダーパスであれば、自動車も含めて南北を一体化することが可能です。横断する幅についても、東西のほうが短い距離です、今。費用も安く済むと思われます。南北を一体化するのであれば、道路自動車交通も含めて東西の踏切道の位置で整備するほうが効果的なのは明らかです。

昨年9月の一般質問でも指摘していますが、JRの北側で東西の踏切へ迂回するよりも真ん中を通ったほうが近いと思われる住宅は、数えてみてもそう多くはありません。その理由は、今回の認定道路の位置、現在JAやすらぎ会館になっていますが、そこから北に向かっていく道路がないからです。東西の道路は何本もありますが、南北の道路は東西の踏切のほうへ全て集約されています。地元の住民にしてみれば、私も何十年も通勤・通学であそこを利用している、私じゃなく地元の住民が多くそのように私のほうに指摘しています。

本件道路の東西にある鉄道を横断する踏切を含む道路の整備をするのではなく、本件位置に新たに道路認定するのは道路ネットワークとして位置が不明瞭です。その合理性についてたします。

○議長（大原 功君） 安藤市長。

○市長（安藤正明君） 市道弥富駅自由通路及び市道鯛浦298号線の道路認定につきましては、北口駅前広場の一部となる市道日毛気開線とJR・名鉄弥富駅から駅東側踏切までの線路南側沿いを通る市道鯛浦146号線を結ぶもので、合理性があり、自由通路は都市計画決定され、位置、規模等が明確になっております。

○議長（大原 功君） 佐藤仁志議員。

○6番（佐藤仁志君） 2問目です。

昨日の答弁でも、弥富市人口ビジョンの調査・分析結果を基に、就職に伴い20代の方は転入が超過、住宅取得層になる30代とその子供が転出超過というふうに答弁されています。

名古屋や蟹江では考えられない安い値段がついている、これは統計でも愛知県内で愛西市に次いで2番目に地価が安いそうです。名古屋、蟹江方面の方が考えられない安い値段がついているので新規分譲住宅が売れていますが、これは安いからであって、全体としては残念ながら30代が流出しています。

弥富は保育と福祉が充実していると私も思っています。やはりマイナスの要因は、ゼロメートル災害が大きいというふうに多くの市民の人から言われています。この傾向については、弥富市人口ビジョンとして弥富市が公式に認めているところであります。

今回の認定道路を使うJR・名鉄の利用者でない利用者300人というのは、多くの市民の方に聞いても、まあそんなもんだろうと言っています。北側に駐輪場を造って、それを使って近鉄に行く人を含めて見積もって往復300人、実質150人ぐらいだろうと思います。

ここであえて根拠を示してほしいと質問しているのは、客観的、論理的に現在のJR・名鉄弥富駅の南北の土地利用の状況を調査・把握した上で目的を設定し、交通量を想定し、それをどのルートで通すのか、曇りのない目で比較・選択していないと思われるからです。

特に問題なのは、国の制度をその上でどう選択するか。都市事業者・弥富市がやるのか、鉄道事業者がやるのか、そういったことについて事実と目的に合わせて弥富市にとって最も

有利な方法を選択すべきなのに、そうっていないと思われるからです。

一般質問でも、各種そういったことについて質問しても、効果がある、効果があるという答えはあっても、是非についてはほとんど答えていただけませんでした。反論できないのは、制度を選択するのではなく、制度を利用することが目的となってしまうと、いくなれば補助金をいかに多く使うかということが目的になっているという懸念があります。

南北の一体化という事業目的は、制度に合わせて事業目的を言い換えているとしか思えなくなってしまうからですというふうに多くの市民の人が言っています。

東西の踏切の交通量の調査結果と、歩行者の利用者を300人と想定している根拠と効果を質問します。

○議長（大原 功君） 安藤市長。

○市長（安藤正明君） 都市計画現況調査等の数値から、最低限見込める想定利用者を市が推計したのですが、三浦議員の一般質問でもお答えさせていただいたとおり、この自由通路と北口駅前広場及び駐輪場を整備することにより、駅北側のJRと近鉄利用者が自由通路を利用できるようになり、かつ駅北側の名鉄利用者が直接地平駅を利用することができるようになることから、歩行者、自転車、送迎車両等の駅東西踏切利用者が減少し、踏切道の安全が確保されることにつながりますので、決して300人のためではなく、駅利用者を含めた自由通路利用者約6,000人全てを対象に事業を進めることにより、事業効果が発揮されるものでございます。

○議長（大原 功君） 佐藤仁志議員。

○6番（佐藤仁志君） 3番目、最後です。

JR・名鉄弥富駅の現在敷地になっているところですね。考えてみれば、元国鉄あるいは鉄道ですが、その今駐車場になっている敷地内に駅前交通広場を新設するための道路認定です。

本来、昭和45年に策定した弥富都市計画では、駅前広場は北、それから中、これは近鉄の北側になりますが、それから近鉄線の南の3か所が決定済みです。

駅前広場とそこへアクセスする都市計画道路は本来セットで事業化するのが筋です。今回駅前広場と言っていますが、単なる駅の車寄せ、利用する人は駅の送り込みだと思います。

このことについて、整合性と効果を質問します。

○議長（大原 功君） 安藤市長。

○市長（安藤正明君） 昭和45年11月24日に市街化区域と市街化調整区域が指定され、その後昭和48年1月19日に都市計画道路及び3つの駅前広場が都市計画決定されております。

このことから、当時から自由通路または橋上駅舎を介し、それぞれの駅前広場をつなぎ、地区間の連携を図ることを想定し、駅前広場が決定をされております。本事業は、駅前広場

と道路をつなぐもので整合性があり、駅、東西踏切の歩行者等の安全確保や交通結節点としての機能を強化するなどの効果があります。

○議長（大原 功君） 佐藤仁志議員。

○6番（佐藤仁志君） ちょっと答弁には納得できないのですが、以上で質問を終わります。

○議長（大原 功君） 次に、加藤克之議員。

○9番（加藤克之君） 改めて、おはようございます。

通告させていただいている質疑に当たりまして、今回担当職員さんに質問させていただきます。よろしく願い申し上げます。

議案第44号弥富市子ども医療費支給条例の一部改正についてお伺いさせていただきます。

私6月に議会におかれまして、人口定住促進事業並びにもろもろの意見を提案させていただいた中で、コロナ禍においても、当市においても2年連続出産お祝いも支給されておられます。

当市、子育て支援に切れ目のない政策の実行・実現に向けて、今回の医療の拡大を進めていく上で大事な質問でございます。させていただきます。

まず初めに、令和4年4月1日より施行されますが、海部管内近隣市町村の状況をお伺いいたします。

○議長（大原 功君） 服部保険年金課長。

○健康福祉部次長兼保険年金課長（服部利恵君） お答えします。

海部管内の助成内容は、令和3年10月1日現在で、あま市と大治町が15歳の年度末までを対象としており、津島市は高校生のうち保護者の市民税額が5万円以下の子供の入通院を無料にしています。

愛西市は、高校生の入院を無料に、通院は3割自己負担のうち2割分を助成しており、高校生までの入通院について自己負担を無料としているのは飛島村と蟹江町です。

○議長（大原 功君） 加藤克之議員。

○9番（加藤克之君） 入通院、こちらも全て飛島村と蟹江町は行っておられますという答弁でございました。県内におかれましても、入通院ともに無償化されているのは名古屋市、北名古屋市、東郷町、豊山町、南知多町、設楽町、東栄町、豊根村でございます。11番目に今回、弥富市になるかというわけでございます。

そういう意味で、子供さんがぜんそくやアトピーや、当然歯医者さん、数多く通院もされる方が多い状況でございます。そして一番大事なのは、子供さんの兄弟が多い、3人家族、4人家族、2人家族、そういう生命の誕生の中で、こちらのほう人口定着で進めていただく。それも医療の拡大の大事な施策だと思います。どうかいい形で進めていただくことを申し上げる次第でございます。

次に、施行に当たりまして、年間医療費とシステム管理費等の費用をお伺いいたします。  
また、今後この事業、継続をちゃんとしていただけますか、お伺いいたします。

○議長（大原 功君） 服部保険年金課長。

○健康福祉部次長兼保険年金課長（服部利恵君） 今回の拡大により、令和4年度予算で、令和2年度の中学生的実績から、1人当たりの扶助費を積算し、高校生対象人口を掛けた額3,500万円の増加を見込んでいます。また、今回の改正によるシステム改修費用や郵送料で111万3,000円の補正予算を12月議会に上程いたしました。今後、この事業は継続するののかとの質問ですが、継続事業としています。

○議長（大原 功君） 加藤克之議員。

○9番（加藤克之君） 3,500万円の増加の見込みをとということでございますね。私も2年前に選挙、子育て支援に医療費18歳までということでマニフェストを掲げさせていただきました。そのときは、職員さんとお話をした中でも3,700万円ぐらいかかるというお話でございまして、システム改良費もかかるということも聞いておられました。

そういう中でも、市長のほうにも財源の確保をしっかりとさせていただいたら進めていく方向性のお話もいただきました。しっかりとこの事業、継続事業として行っていただきたい、切にお願いいたします。

最後3番目でございます。

18歳対象年齢に関わる周知方法をお伺いいたします。

○議長（大原 功君） 服部保険年金課長。

○健康福祉部次長兼保険年金課長（服部利恵君） 子ども医療費受給者証の有効期限は、未就学児が小学校に入学する年の3月末まで、小・中学生は中学終了前の3月末までとなっています。周知方法としましては、令和4年3月末までに、小学1年生と高校1年生になられるお子様に新しい受給者証を送付いたします。また、時期は未定ですが、高校2年、3年生になられる新規対象者の方には、申請書を個別に送付いたしますので、返信していただき、審査した後、令和4年3月末に新しい受給者証を送付する予定です。それ以外の小・中学生のお子様の受給者証はそのまま使っていただけますが、令和5年3月に新しい有効期限の受給者証を送付する予定です。

その他の周知方法として、広報やホームページに掲載し、医療機関への制度説明も予定しております。

○議長（大原 功君） 加藤克之議員。

○9番（加藤克之君） きちんと、また円滑に取り組んでいただきたいなあと思います。

そして、また広報、ホームページに大きく拡大、大きく掲載していただいて医療機関の方々にもお話を進めていただいて、昨日ちょうど医療関係者の方とお会いしたんですけど、

やっぱりありがたい、またいろいろな市長も場面で話が出ているということで、聞いておりましたという話でございますが、改めて市の取組が健全であること、そしてまた市民ニーズに合わせた市民目線でやっていただき、それからのまた人口の定着、子育て支援と切れ目なく進めていただきたいと思います。

以上で、質問を収めます。ありがとうございました。

○議長（大原 功君） 次に、那須議員。

○2番（那須英二君） 2番 那須英二。

通告に基づきまして質疑させていただきます。

まず1点目、議案第44号弥富市子ども医療費支給条例の一部改正について、これを年齢を15歳から18歳に引き上げるということであります。

今まで様々な市の課題の中で、大変近隣市町より遅れていた部分が大きく改善されるということで、大願であり、大変喜ばしいことだとは思いますが。

ただ、これによって今後の財政見通しはどうかという点について質問させていただきたいと思っています。

今後、消防署の建て替え、保育所の長寿命化、下水道事業などこの辺りはやらなければならない事業、そして、不要不急ではありますけれども、自由通路の整備にも多額のお金がかかってくるというところで、今回さらに年間3,500万円という金額の財政出動が必要になってくるというところで、本当に今後の財政が乗り切れるのかというところで、財政見通しについてお伺いいたします。

○議長（大原 功君） 総務部長。

○総務部長（横山和久君） 子ども医療費の対象年齢拡大による財政見通しにつきましては、歳出面におきまして、令和4年度以降に費用負担の増加分が見込まれますので、今後も引き続き行政改革に取り組み、持続可能な行財政運営を図っていくことが必要であると考えております。

○議長（大原 功君） 那須議員。

○2番（那須英二君） コロナが大きく終息して、そういう中で企業が潤ってくるというところで見込んでいるということでございます。

もう一点ですが、今年度でも6月、うちの板倉のほうで質問させていただいておりますし、9月議会でも横井議員のほうからも18歳までの医療費無償化についての質疑をしていたと思うんですが、なぜ急にこの12月にこの議案を上程するつもりになったのか、市長のほうからお聞かせください。

○議長（大原 功君） 安藤市長。

○市長（安藤正明君） 高校生の医療費無償化につきましては、過去何度も一般質問や委員会



で議題に上がっており、弥富市といたしましても、他市の状況や予算規模を精査し、議論を重ねてまいりました。子ども医療の拡大につきましては、子育て支援の中でも重要であること、少子化や人口減少対策として有効であることも認識しており、今まで県や国に補助対象の引上げを要望しております。特に、コロナ禍で社会・経済はもとより多くの皆さんの生活も打撃を受けました。特に、子育て世代はより大きな影響が出たことは御承知のことと思います。

そうした状況の中で、子育ての大きな不安の一つに子供の病気があります。成長期にある子供の病気の早期発見・早期治療を支えるために、医療費の心配をなくすことは大きな子育て支援になりますので、制度を拡充したものでございます。

○議長（大原 功君） 那須議員。

○2番（那須英二君） 市長の思いを聞きましたので、その辺は考慮していきたいと思っています。

もう一点です。

議案第47号、弥富市道の認定についてでございます。

この件については、弥富市自由通路、これを市道認定するというところでございますけれども、この間、この自由通路をめぐって都市計画審議会及び市民の意見を聴取するところがあったかと思いますが、そのような意見の中でどのようなものがありましたでしょうか。

○議長（大原 功君） 伊藤建設部長。

○建設部長（伊藤重行君） 本年、10月13日に開催いたしました第1回弥富市都市計画審議会において、自由通路の都市計画決定を審議していただきました。

審議会委員からは都市計画決定する自由通路の幅が南北でなぜ違うのか、都市計画決定しなければならない理由、交通結節点として整備する自由通路の位置を北口駅前広場、中央駅前広場との位置関係の検討状況について、駅東西に位置する踏切道の拡幅についてなどの意見をいただきました。

また、名古屋都市計画道路の変更（案）に関する意見書につきましては、都市計画決定に関する意見といたしまして、理由書に関する事、手続に関する事、その他の意見といたしましては、自由通路の整備に関する事、まちづくりに関する事、他事業に関する事、渋滞緩和に関する事がございました。

なお、これらの意見内容につきましては、弥富市のホームページ、都市計画審議会の中に掲載をいたしております。よろしくお願いたします。以上です。

○議長（大原 功君） 那須議員。

○2番（那須英二君） そうした都市計画審議会のホームページ等を見させていただくと、必ずしも賛成ということではなく、主には踏切の整備を早くしてほしいというような、優先順

位の順番が違うんじゃないかというような御意見も多数あるわけですが、それによって、要は否定的な意見が結構ある中で、このまま市道認定を進めていいのかどうか、再度確認します。

○議長（大原 功君） 建設部長。

○建設部長（伊藤重行君） これまでに、適切な都市計画の決定の手続を経て、弥富市都市計画審議会で審議、答申を受け、愛知県知事協議の結果、計画については異存なしの回答を得て、本年11月11日に都市計画道路弥富駅自由通路として都市計画決定をいたしました。

したがいまして、本議案は、道路法の手続として速やかに市道認定を行うものでございます。

○議長（大原 功君） 那須議員。

○2番（那須英二君） 確かに都市計画審議の中では、そういった形で進んでいると思うんです。

ところが、市民の多くはまだまだこの事業に対して納得ができていないという方も多数いらっしゃるのも事実だと思うんです。

そういう中で、今後この事業について、やはり中止・延期という可能性だってあると思うんですが、今後その自由通路計画が中止されるということはないのでしょうか、市長のお考えをお願いします。

○議長（大原 功君） 安藤市長。

○市長（安藤正明君） J R・名鉄自由通路及び橋上駅舎化事業につきまして、来年3月議会に鉄道事業者と事業の工事協定について上程申し上げ、御審議をしていただきます。

○議長（大原 功君） 那須議員。

○2番（那須英二君） 質問とちょっと答弁が違うもんですから、驚いたわけですが、3月に例えば、仮に工事協定をしたいということです。議案ですので、仮にこれが否決されたら中止という運びになるのでしょうか。

○議長（大原 功君） 安藤市長。

○市長（安藤正明君） 議会でお認めいただけないということになるもんですから、そういうことになると思います。

○議長（大原 功君） 那須議員。

○2番（那須英二君） そうした場合において、中止になる可能性もあるわけですが、そうした場合において、先に市道認定するというのはなぜなのでしょう。

○議長（大原 功君） 建設部長。

○建設部長（伊藤重行君） 私どもは、このJ R・名鉄弥富駅自由通路及び橋上駅舎化事業、これについては推進していく考えでございます。

その考えに基づきまして、必要な手続をしていくということですので、御理解をいただきたいと思います。

○議長（大原 功君） 那須議員。

○2番（那須英二君） 御理解はいただけませんが、質問としては終わらせていただきます。

○議長（大原 功君） 次に、加藤明由議員。

○5番（加藤明由君） 5番 加藤明由でございます。

議案第47号市道の認定について、お伺いいたします。

弥富駅自由通路の完成後の維持管理費についてお伺いいたします。

弥富駅自由通路部分の完成後の維持管理費用、前回の私の一般質問で、気開の跨線橋が5年間で600万円、管理費といいますか点検費がかかるということでお聞きしておりますが、これも同じようにこの費用が発生するのか、ほかの費用も含めてお答えください。

○議長（大原 功君） 三輪都市整備課長。

○都市整備課長（三輪秀樹君） お答えします。

自由通路部分の維持管理費用につきましては、他の自治体を参考に、概算の維持管理費用を算出しておりますが、今後詳細設計を進めていく中で、精査していきたいと考えておりますので、現時点で公表できる数値はございません。

また、点検費用につきましても今後精査してまいりたいと思っております。以上でございます。

○議長（大原 功君） 加藤明由議員。

○5番（加藤明由君） 同じく市道の管理ということですから、たしか5年間で600万円とか聞いたんですけど、それは確実にかかるんじゃないですか。

○議長（大原 功君） 都市整備課長。

○都市整備課長（三輪秀樹君） 自由通路部分の橋の下の部分につきましては、道路橋と同様の点検が必要と考えております。

また、上部につきましては、建築の関係の点検が必要になってくると思いますが、建築の部分に関しましては、5年とか10年とかそういった決まりはないと現時点では考えておりますので、その辺は検討してまいりたいと思っております。以上でございます。

○議長（大原 功君） 加藤明由議員。

○5番（加藤明由君） 構造からいきますと、同じ線路の上をまたぐ橋ですから、線路上に何か物が落ちていからんですから、そのために気開の跨線橋も5年に1回点検しておると思うんですけども、全く同じ条件になりますし、今度は線路を横断する幅が2倍ぐらいになるんですかね。今は線路1本分ですけど、今度は線路4本分またぐ形になりますかね、名鉄線

も含めて。当然、前の600万円よりも随分上がるかなと思うんですけども、そういった数字はまだ出ていないんですか。

○議長（大原 功君） 三輪都市整備課長。

○都市整備課長（三輪秀樹君） 現在のところ、算定はしてございません。

○議長（大原 功君） 加藤明由議員。

○5番（加藤明由君） 事業を進めるに当たって、おおよそどのぐらいの維持費がかかるかということを中心に、場当たりのうちにやっちゃって、まあこんな金額がかかるんかと言われても今さら壊すわけにはいかんことになりますので、事前に早い時点で、どのぐらい費用がかかるのか、維持管理費用、これはしっかりと公開をお願いいたします。

次に行きます。

鯛浦298号線の用地買収費用について、これはどのような金額でお買上げになるのかをお聞きします。

○議長（大原 功君） 都市整備課長。

○都市整備課長（三輪秀樹君） 市道鯛浦298号線の土地取得価格につきましては、不動産鑑定評価に基づき、補償審査委員会で価格を決定してまいります。

○議長（大原 功君） 加藤明由議員。

○5番（加藤明由君） ちなみに、弥富市内で道路を買う場合に、鑑定価格で買ってある部分もありますけれども、セットバック道路、一番手っ取り早く説明しますと、ちょうどこの桜小学校の間にも狭い道路がありまして、これセットバックされてみえるわけですけど、こういったものはお幾らでお買上げになっておるんですか。

○議長（大原 功君） 三輪整備課長。

○都市整備課長（三輪秀樹君） 市内の道路用地につきましては、寄附等もありますが、買収の場合につきましては、不動産鑑定評価が基本となりますが、狹隘道路事業、地元申請などがありますので、整備方法などに合った価格決定方法を選択して、有償で取得しております。

○議長（大原 功君） 加藤明由議員。

○5番（加藤明由君） このたびも市道ということで買上げが鑑定価格ということなんですけど、セットバック道路だってそうなりますと鑑定価格で買ってあげたらどうかと思うんですけど、特にこの道路でも海南病院の前の方、海南病院の前の道路にぴったりとついていまして、横セットバックしてたまたま対岸が用水路ですから、本当は中心から2メートルずつ両側なんですけれども、用水路ですから用水路から4メートルということで、かなり大きく物を建てずに空けてみえるわけですね。

昨日もちょっとお伺いしましたら、まだ私は売っていないと。こういった方は非常に不満を抱くわけですね。自分ところの家の前の道路があるにもかかわらず、隣、ずっと奥の方

のために横の道路を空けなきゃならん。こういうものは鑑定価格で買ってあげるとか、そうしておいてこの駅の前は鑑定価格で買う。もっとひどい例でやりますと、ここの庁舎だって7万円の土地、9万円で買えたじゃないですか。公平性がないと思うんですけど、どうですか。

○議長（大原 功君） 加藤明由議員に申し上げます。

ただいまの質問については通告以外でありますので、注意してください。

加藤明由議員。

○5番（加藤明由君） これは質問の内容で関連しますので、別に通告するしないじゃなくて、物の考え方としてお答えください。

○議長（大原 功君） 建設部長。

○建設部長（伊藤重行君） 先ほど担当課長からもお話がございました。我々弥富市といたしましても、道路の拡幅、道路の整備につきましては、その状況によって鑑定価格で買わせていただきましたり、セットバック部分については狭隘道路として皆さんから寄附を受け、それに対する報奨金等で対応させてもらっておるものでございます。

ただ、一律にあそこがこうだから、全てをこうしろという考えにはなっておりません。その辺は御理解いただきたいと思います。

○議長（大原 功君） 加藤明由議員、3回までということになっておりますので、通告がね。同じ質問を3回ということはできませんので。

○5番（加藤明由君） それでは、これ以上回答いただけないということで、その場その場で値段が違うということだけははっきりしました。終わります。

○議長（大原 功君） 他に質疑の方はございませんか。

〔挙手する者なし〕

○議長（大原 功君） 質疑なしと認めます。

よって、質疑を終わります。

議案11件はお手元に配付した議案配付の表のとおり所管の委員会に付託いたします。

本日、安藤市長より議案第51号が提出されました。

お諮りいたします。

これを直ちに日程に追加して議題としたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（大原 功君） 御異議なしと認めます。

よって、議案第51号は本日の日程に追加し、議題といたすことに決しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第13 議案第51号 令和3年度弥富市一般会計補正予算（第11号）

○議長（大原 功君） この際、日程第13、議案第51号を議題といたします。

安藤市長に提案理由の説明を求めます。

市長。

○市長（安藤正明君） 本日追加提案し、御審議いただきます議案は、予算関係議案1件でございます。その概要につきまして御説明申し上げます。

議案第51号令和3年度弥富市一般会計補正予算（第11号）につきましては、子育て世帯臨時特別給付金を支給するための関連予算を計上するものであります。

以上が提案する議案の概要でございますが、議案の詳細につきましては総務部長から説明いたしますので、よろしく御審議賜りますようお願い申し上げます。

○議長（大原 功君） 議案の説明を横山総務部長に求めます。

横山総務部長。

○総務部長（横山和久君） 議案第51号令和3年度弥富市一般会計補正予算（第11号）につきましては、歳入歳出それぞれ3億3,410万7,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を173億8,179万8,000円とするものであります。

歳入予算の内訳といたしましては、民生費国庫補助金3億3,410万7,000円を増額計上するものであります。

歳出予算の主な内容といたしましては、民生費におきまして、子育て世帯臨時特別給付金3億3,130万円を計上するものであります。以上でございます。

○議長（大原 功君） これより質疑に入ります。

質疑の方ございませんか。

[挙手する者あり]

○議長（大原 功君） 那須議員。

○2番（那須英二君） 2番 那須英二。

議案第51号について質疑させていただきます。

この議案については、国のほうでも報道がありました18歳以下の子供、所得制限はありませんけれども、その方々に5万円と、さらに4月あたりに5万円の現金なのかクーポンなのかというところのものだと思います。

そういう中で、やはり今議案に示されている経費というのが国のほうから下りてくるというところで行うと思うんですが、将来的にまたもう一度5万円出てくるわけですが、これを逆に一括で10万円に配付してしまったら、そのほうが経費が安く済むと思うんですが、そのようなことはできないのでしょうか。

○議長（大原 功君） 飯田児童課長。

○児童課長（飯田宏基君） お答えさせていただきます。

まずクーポン配付の事業ですが、国のほうからの文書で地方自治体の実情に応じて、現金給付も可能となっております、今のところですが、弥富市としては現金を配付する考えであります。

今回補正させていただいたのは、年内支給を目指した第1回目の5万円なんですけど、これは国のほうの予備費を使用するということを確認しております。クーポン券については、まだ財源措置ができていないため、国が補正予算を組んだ上でということですので、同時に支給することはできないということになっております。

○議長（大原 功君） 那須議員。

○2番（那須英二君） クーポンにしますと、余計に経費がかかるし、事務事業も本当に大変になってくるものですから、現金ということで考えているということであれば、そこは本当にいいことだなというふうに思います。

ただ、今国の予算が下りてくるのがちょっと今後ということになりますので、今予備費を使って5万円というところでした。

だったら逆に、市の財政調整基金、どうせ後で戻ってくるというふうに考えれば、財調を崩して先にこの10万円給付を実行して、そうして経費を抑えるということも考え得ると思うので、そういった対応はできないんでしょうか。

○議長（大原 功君） 村瀬副市長。

○副市長（村瀬美樹君） 御質問いただきました今回のこの子育て世帯への臨時特別給付金につきましては、国の制度にのっとって行うものでございます。市の単独事業ではございませんので、国の制度と併せて皆様に支給をさせていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（大原 功君） 那須議員。

○2番（那須英二君） 分かりました。

じゃあ最後に確認しますが、1回に現金給付する場合と、2回現金給付する場合の経費の差というのは、今事務事業の予算としては208万7,000円と出ていると思うんですが、この経費がまた再び4月仮に支給される場合は、もう一回この経費が必要になるのか、あるいは流用できるもんでもっと安くなるのか、その辺についてはどうでしょうか。

○議長（大原 功君） 飯田児童課長。

○児童課長（飯田宏基君） 2回支払った場合の経費の差額ですが、まず案内通知とか郵送料が倍になると思います。それから振込みする手数料も倍かかるのではないかと考えております。

あと、システムについては今回開発ということで、新たなシステムを組みますので、これを利用できれば必要ないかなと考えております。

○議長（大原 功君） 那須議員。

○2番（那須英二君） 分かりました。その点につきましてはありがとうございます。

あと、これは答弁要らないんですけども、資料として今多分出ないと思うんで、一応確認しておきますが、先ほど4月に関してはクーポンにしなくて現金にするということでしたが、クーポンにした場合にかかる余計な経費について今後委員会等で確認したいと思いますので、よろしくをお願いします。以上です。

○議長（大原 功君） 他に質疑の方はございませんか。

〔挙手する者なし〕

○議長（大原 功君） 質疑なしと認めます。

ただいま議題となっております議案第51号は、会議規則第37条第3項の規定により委員会への付託を省略したいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（大原 功君） 御異議なしと認めます。

よって、本案は委員会への付託を省略することに決しました。

これより討論に入ります。

討論の方はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（大原 功君） 討論ないことを確認いたしましたので、討論を終結し、これより採決に入ります。

議案第51号は原案どおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（大原 功君） 御異議なしと認めます。

よって、議案第51号は原案どおり可決決定をいたしました。

本日、安藤市長より議案第52号及び議案第53号を提出されました。

お諮りいたします。

これを直ちに日程に追加し議題としたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（大原 功君） 御異議なしと認めます。

よって、議案第52号及び議案第53号を本日の日程に追加し、議題とすることに決しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第14 議案第52号 令和3年度弥富市一般会計補正予算（第12号）

日程第15 議案第53号 令和3年度弥富市下水道事業会計補正予算（第2号）

○議長（大原 功君） この際、日程第14、議案第52号及び日程第15、議案第53号、以上2件



を一括議題といたします。

安藤市長に提案理由の説明を求めます。

市長。

○市長（安藤正明君） 次に追加提案し、御審議いただきます議案は、予算関係議案2件でございます。その概要につきまして御説明申し上げます。

議案第52号令和3年度弥富市一般会計補正予算（第12号）及び議案第53号令和3年度弥富市下水道事業会計補正予算（第2号）につきましては、人事異動に伴う職員構成の変動等により増減が生ずることから今後の執行見込みに合わせて予算を整理するものであります。

以上が提案する議案の概要でございますが、議案の詳細につきましては総務部長から説明いたしますので、よろしく御審議賜りますようお願い申し上げます。

○議長（大原 功君） 議案の説明を横山総務部長に求めます。

横山総務部長。

○総務部長（横山和久君） 議案第52号令和3年度弥富市一般会計補正予算（第12号）につきましては、人事異動に伴う職員構成の変動等により増減が生ずることから今後の執行見込みに合わせて予算を整理した結果、歳出の人員費253万1,000円を減額する一方、財政調整基金積立金253万1,000円を増額するものであります。

次に、議案第53号令和3年度弥富市下水道事業会計補正予算（第2号）につきましても同様の理由から収益的支出の人員費115万6,000円を減額し、収益的支出の予定額を8億9,438万8,000円とし、資本的支出では人員費を80万4,000円減額し、資本的支出の予定額を12億3,110万4,000円とするものであります。以上でございます。

○議長（大原 功君） これより、議案第52号及び議案第53号の質疑に入ります。

質疑の方ございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（大原 功君） 質疑なしと認めます。

以上で質疑を終わります。

ここで暫時休憩をいたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

午前10時47分 休憩

午前10時49分 再開

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（大原 功君） 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

本案2件は、お手元に配付いたしました議案付託表のとおり所管の委員会に付託いたします。

以上をもちまして、本日の議事日程は全て終了いたしましたので、本日の会議はこれにて散会をいたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

午前10時50分 散会

本会議の顛末を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

弥富市議会議長 大 原 功

同 議員 堀 岡 敏 喜

同 議員 加 藤 明 由